

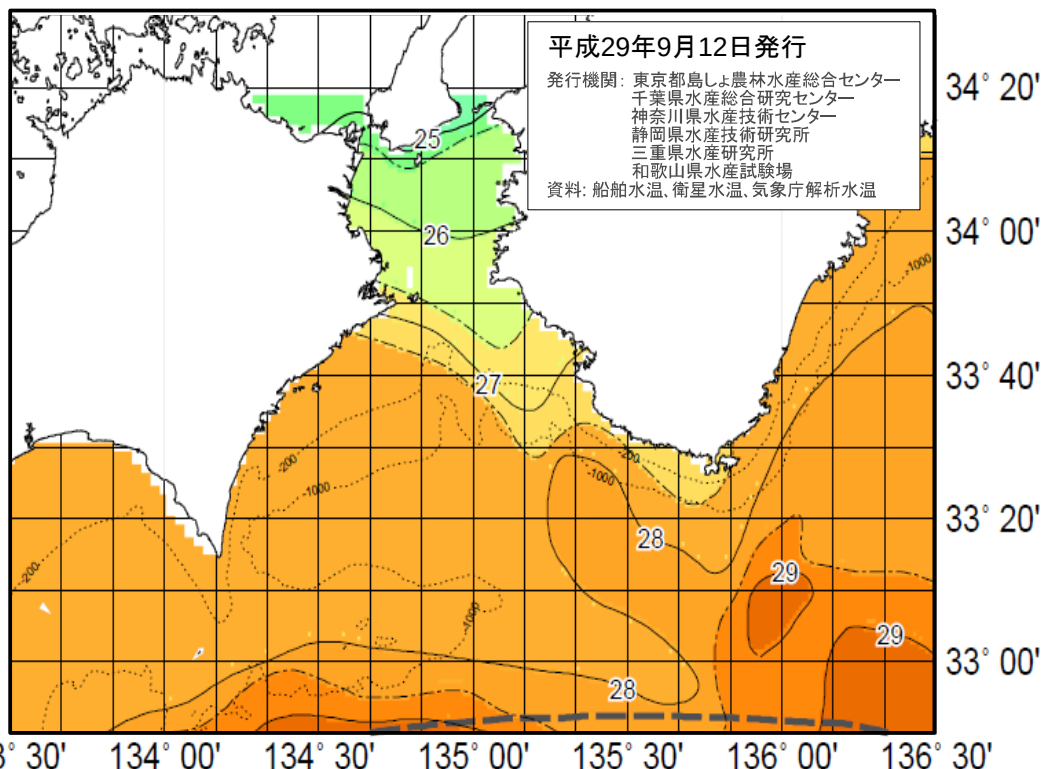
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、室戸岬沖では、前号時点の「離岸」から徐々に岸寄りに移動し、7日頃を境に「やや離岸」となったが、12日に再び「離岸」となった模様。潮岬沖では前号時点から引き続き「やや離岸」で、接岸傾向で推移していたが12日にはやや離れた模様。

徳島県沿岸の水温は下がり、播磨灘で25℃～26℃台、紀伊水道で25～26℃台、海部沿岸で26℃～27℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は、平年並みの29℃台となっている。

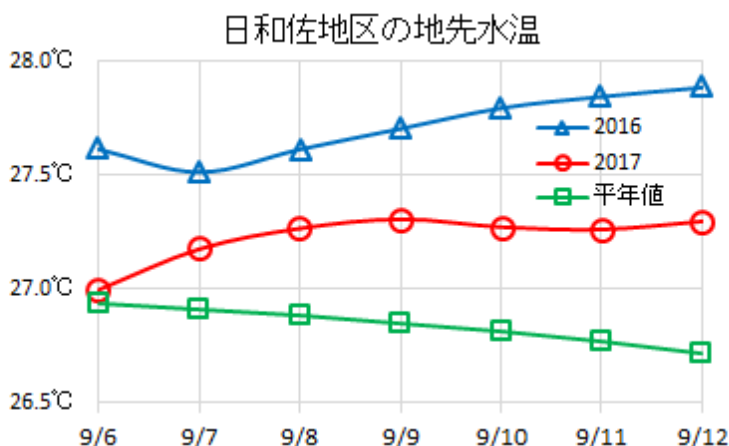
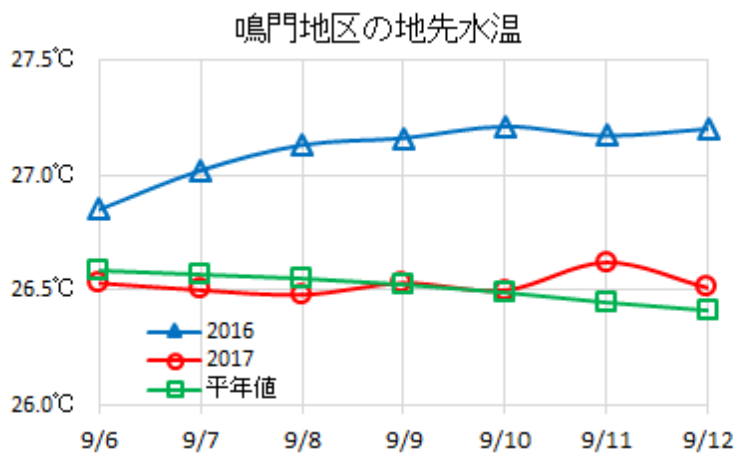


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(9月6日～9月12日)

鳴門地区の地先水温は、「平年並み」の26.5℃～26.6℃で、横ばいで推移した。

日和佐地区の地先水温は、おおむね「平年並み」の27.0℃～27.3℃で、期間前半僅かに上昇したのち横ばい推移し、12日には「やや高め」となった。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(9月13日～9月19日)

黒潮は、室戸岬沖は「離岸」、潮岬沖は「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の26℃台、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」27℃前後で推移する見込み。

漁況 2017年9月4日～9月10日（旧暦7月14日～7月20日）

紀伊水道ではサワラ延縄漁が本格化した。海部沿岸では、この時期珍しく、近場の漁場で小型のカツオが釣れている。

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

船びき網では、シラスが減って7.4ト水揚げされた。

延縄では、サワラが大きく増えて5.8ト、ハモがやや増えて1.8ト、タチウオは大きく減って0.5ト水揚げされた。

小型定置網の水揚げは大きく減り、マアジ、カンパチがともに0.5ト、ブリがつばすサイズ主体に0.4ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが増えて6.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

釣りでは、カツオが小型主体に0.6ト水揚げされた。

延縄では、カサゴがやや増えて0.5ト、アカムツが前週並みの0.3ト水揚げされた。

小型定置網の水揚げは大きく増え、かます類が1.2ト、ウルメイワシが1.0ト水揚げされた。

表にはないが、釣りなどでカマスサワラが約250キ水揚げされている。

漁獲量集計表(漁獲が0.1ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	81	シラス	7,425	92		↘
		延縄	73	サワラ	5,775	79	
	11		ハモ	1,774	161		↗
	52		タチウオ	545	10	特大主体	↘↘
	小型定置網	20	マアジ	506	25	小小主体	↘
		20	カンパチ	465	23		↘↘
		17	ブリ	401	24	つばす主体	↗
		16	マルアジ	191	12	小主体	↗↗
	底びき網	39	ハモ	6,415	164		↗
		24	えそ類	409	17		↗↗
		26	イボダイ	198	8	大主体	↗↗
		24	かます類	131	5		↗↗
28		ケンサキイカ	106	4		↗↗	
27		いとより類	102	4	小主体	↗↗	
海部沿岸	釣り	24	カツオ	581	24	小・小小主体	↗↗
		37	カンパチ	213	6		↗↗
		22	ブリ	110	5	つばす主体	↗↗
	延縄	17	カサゴ	488	29		↗
		11	アカムツ	296	27		→
		18	キダイ	275	15	大主体	↗
		5	カワハギ	175	35		↗↗
		13	いとより類	101	8	大主体	→
		小型定置網	14	かます類	1,207	86	
	17		ウルメイワシ	1,004	59		↗↗
	27		マアジ	621	23	小小主体	↗↗
	22		ヒラソウダ	279	13		↗↗
18	マルソウダ		213	12		↗↗	
5	マイワシ		173	35		↗↗	
2	ニザダイ		146	73		↗↗	
26	カンパチ	102	4		↗↗		

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘